

テーマ

若者と市役所・まちづくり活動との間に感じている「壁」とは？
その「壁」はどのようにすれば取り払えるか？

【提案された壁】

- ・「情報」の壁
- ・「興味」「関心」の壁
- ・「意識」の壁
- ・「時間」の壁

壁のテーマ	意見
「情報」の壁	<p>情報不足・情報格差</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「情報を発信する側」の問題として、わかりやすく情報を発信できていない、提供すべき情報を提供していないなどが挙げられる。 ○市が開催する会議は、どのようなことをする集まりなのかわかりづらいため、人を誘いづらい。 ○「情報を受け取る側」の問題として、情報へのアンテナを張っていない、張り方がわからないなどが挙げられる。 ○職員には、市民の情報を知るのが怖いという意見もある（職員個人ではすぐに応えることができないため）。 ○情報格差をなくすため、市民同士で、身近な人に自分の知っていることを話していく、伝えていくことが大切。 ○気軽に情報交換ができるよう、市民・市の職員問わず、友人づくりに取り組み、自分の情報を積極的に発信していくことが必要。 ○市職員においても、得た情報を庁内で関係部署に伝達、連携すべき。 <p>情報共有の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民を呼んで会議の場を設けても、話しっぱなしで終わっている。 ○市民と市の接点を作る場のハードルを下げるべき（市民向け会議を開催する際に目的・参加対象を明確にしすぎない、日常生活の中で市民と職員がたまたま話をできるような接点（食堂解放など）をつくる）。 <p>情報のマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あることをやりたい主体（市民・市）の情報が、その情報を受取りたい（あるいは、受け取ってほしい）側の主体に届いていない。 ○やりたい主体と受け取りたい（受け取ってほしい）主体双方の情報をマッチングさせるきっかけづくりが大切。そのためには普段から様々なつながりをつくる努力が必要。 <p>情報発信ツール</p> <ul style="list-style-type: none"> ○フェイスブックや SNS など、もう少し気楽な情報発信ツールを活用していくべき。 ○ツイッターやまとめサイトなど多様な方向からの情報発信が必要。 <p>情報の伝え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口減少や震災危機など、特に市民に伝えるべき重要な情報は、わかりやすく、かつ自分事として実感できるように発信することが必要。

壁のテーマ	意見
「意識」の壁	<p>行政の意識・姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市で全てをやろうする意識の改革が必要。 ○市は、若者がやりたいことを提案しやすい雰囲気を作っていくことが必要。 ○市は、若者からの新しい提案を活かす場づくり、若者が自由にやりたいことができる場づくりを進めて行くことが必要。 <p>協働の意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民と市、それぞれの主体が、毎回同じ役割を担うのではなく、それぞれの取組みの中で、バランスを保ちながら、取り組んでいくことが必要。 <p>市民と市のお互いの信頼関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民も市もお互いを知らないため、それぞれのできることに、やりたいことがわからず、距離感・先入観を持ってしまっている。その結果として協力したり、気軽に会議に参加したりということが難しくなっている。 ○互いの距離感をなくすため、日常生活の中で市民と職員がたまたま話ができるような接点（食堂解放など）を創出し、お互いを知り、友人を増やしていくことが必要。
「興味」「関心」の壁	<p>興味のなさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者がまちづくりに興味を持っていない。 ○市民も市も互いに無関心であるため、そもそも克服すべき「壁」を感じていないことが問題。 ○若者（学生）に興味を持ってもらうため、授業の一環に置き換えて、まちづくりに関わる事が出来るキッカケ、機会が必要。
「時間」の壁	<p>物理的時間のなさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民が平日にまちづくりに参加できるよう、市から各企業にアプローチできないか（平日のまちづくりの会議に、従業員（市民）が参加できるように考慮してくれるよう、企業に依頼するなど）。 ○市職員のフレックスタイム制度を検討（日中働いている人が週末に市役所に相談できるように）。 ○労働時間の短縮が必要。 <p>優先順位の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりの会議に出ること自体の優先順位を上げること、モチベーションを上げることが必要。そのために、会議の参加で得られる結果が見えること、まちづくりの会議と一緒に参加する仲間がいることが重要。 ○家や会社など周囲の理解が必要。そのために、地域も含めた積極的なPRが必要。